

平成24年度那須地区PTA指導者研修 《分散会のまとめ》

「家読（うちどく）を始めるための73の方法」

【行政では】

- ・家読の町・市づくりを推進する。
- ・市町で「家読の日」を設ける。
- ・図書館に「家読コーナー」を設置する。
- ・ホームページで広報する。

【学校・PTAでは】

まずはこんなことから

- ・読書時間を確保する。
- ・家読を学校の宿題として実施する。
- ・土日や長期休業日に実施する。
- ・一言感想から実施する。
- ・記録（家読カード、家読ノート）を残し共有する。
- ・朝の会で家読の感想を発表する。
- ・先生による読み聞かせを実施する。
- ・子どもによる読み聞かせを実施する。
- ・家読バッグを利用してリレー家読を実施する。
- ・読書会を実施する。
- ・家読学習会や発表会を実施する。
- ・家読フェスティバルを実施する。
- ・ポイント制、読破賞、多読賞等を設定し、子どもたちの意欲を喚起する。

PR活動や目標設定等を

- ・家読のやり方やメリットを紹介する。（各種たよりや研修会等で）
- ・家読の本の紹介やお薦めリストを作成・掲示する。
- ・家読感想文・感想画・写真等の紹介をする。
- ・学校に家読コーナーを作る。
- ・家読の目標を設定する。
- ・家読週間を設定する。

読書環境の充実を

- ・図書室を魅力ある空間にする。
- ・図書室に家読コーナーを作る。
- ・学校の図書購入費を増額する。
- ・図書室の本を増やす。
- ・学級文庫を充実する。
- ・学校図書室を家庭・地域に開放する。
- ・本をリサイクルする。

こんな推進方法も

- ・PTA活動として推進する。
- ・図書ボランティアと連携をして推進する。
- ・親子読書活動を家読にしていく。
- ・家読に関するアンケート調査を行う。

【家庭では】

まずはこんなことから

- ・まずは始めてみる。
- ・まずは5分間から始める。
- ・日常会話に本の内容を入れる。
- ・家族で1箇所が集まって行う。
- ・家族で同じ時間に行う。
- ・土日に行う。
- ・読んだ人から感想を話す。
- ・家族がそろった場所で、とにかく感想を話す。
- ・子どもの感想をしっかりと聴いてあげる。
- ・子どもの読書活動をとにかく褒める。
- ・選書について家族で話し合う。
- ・家読にあった本を図書館等に行き選ぶ。
- ・家族でお薦めの本を紹介し合う。
- ・子どもに本をプレゼントする。
- ・子どもの好きな本で始める。
- ・絵本や簡単な本から始める。
- ・新聞で家読を行う。
- ・スマホなどを使い電子書籍で家読を行う。
- ・読み聞かせから始める。
- ・定番の昔話を読む。
- ・マンガを小説にしたものを読む。
- ・テレビドラマや映画の原作を読む。
- ・子どもが読んだ本を読む。
- ・一冊を家族で分担して読む。
- ・一冊の本を家族で回し読みする。
- ・三世代家読を行う。
- ・親がやる気を出して読書をする。
- ・夫婦で連携して行う。

こんな約束等も・・・

- ・家読について家族でのルールを決める。
- ・感想を話し合う日時を決める。
- ・ノーテレビデー、ノーゲームデー、ノーメディアデー等を設ける。
- ・イエスコミュニケーションデーと併せて行う。
- ・子どもの意見を取り入れる。
- ・読む時間を決めない。

読書環境の充実を

- ・すぐに本が読める環境(リビング、トイレ等に本棚を設置するなど)を作る。
- ・家読文庫を作る。

こんな方法も・・・

- ・家のMVPを家族で決める。
- ・遠くにいる家族ともメールでやり取りをする。
- ・本に登場した場所に行ってみる。